

2017年10月22日(日) 13:00~17:00

下京区下之町6丁目 高瀬川 仮設テラス

(雨天の場合は旧崇仁小学校内にて)

13:00~ ワークショップ「まちの景色を染める水」(企画:むらたちひろ)

14:00~ 川掃除 (ワークショップと川掃除の詳細はウェブページでご確認下さい)

15:00~17:00 トーク「川は青かった〜〈テラス〉と〈河原〉」

ゲスト: 森本幸裕(景観生態学/ランドスケープデザイン/京都大学名誉教授)

やなぎみわ(美術家/演出家/京都造形芸術大学教授)

聞き手: 榊原充大・本間智希(建築リサーチ)

●参加無料・要申込(定員:ワークショップ10名、トーク25名) / 申込方法は右に→

●問合せ・申込=漂流するアクアカフェ実行委員会 driftakcua@gmail.com

第7回 漂流するアクアカフェ 川は青かった 〜〈テラス〉と〈河原〉〜

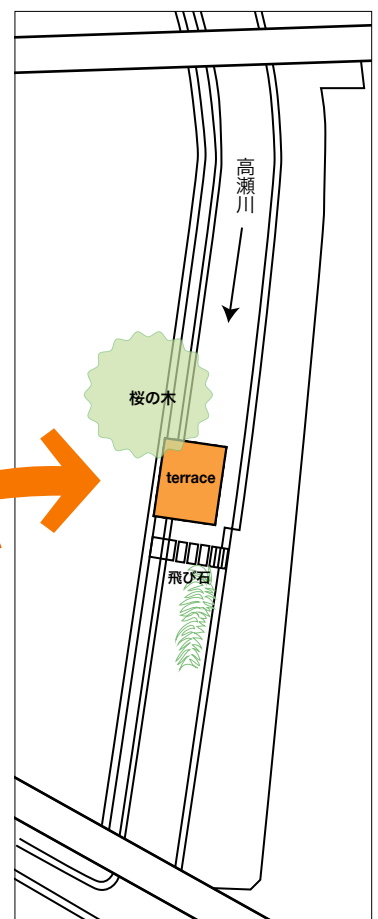
第7回漂流するアクアカフェは、崇仁地区を流れる高瀬川に京都芸大移転基本コンセプトでもある「テラス」を仮設し、その上でを行います。今回のアクアカフェ「川は青かった〜〈テラス〉と〈河原〉」は、移転計画の要である高瀬川の水の流れを軸に、自然と関わるものづくりの技術のありようと、芸術、社会との関係を、キャンパス計画を視野に入れながら探ります。技術の根源は自然や大地との関わりがありますが、その自然は、京都の川が染め物で使われて色が変わったように、職能民がシェアするリソース(資源)でした。河原はまた多様な人々が集い、田畑や町の空間とは異なる位相で、人と自然、この世とあの世をつなぐ場所でした。自然豊かな沓掛の地から崇仁地区に移転するなかで、きれいごとではない自然との共生を捉え直し、芸術教育・研究の場と地域の自然・歴史の有機的関係を再構築する可能性を、環境デザイン、建築、芸術表現に携わる立場から語り合います。「テラス」としての京都芸大は、クリエイティブな新しい「河原」をどうつくりだせるのでしょうか。

still moving 2017: 距離へのパトス
—far away/so close

http://gallery.kcua.ac.jp/projects/20171022_id=11721#ja

情報は随時上記のウェブサイトにて更新します。

●参加無料 要申込み、定員10名(小学生以上)、トーク25名(先着順)
●参加条件 10月7日(土)ないし10月22日(日)の高瀬川の掃除に参加すること
今回は、高瀬川上にテラスを仮設して行います。そのため、崇仁高瀬川保勝会が主催する高瀬川の掃除への参加者に限らせていただきます。
川掃除は10月7日(土)午後1時半〜、および10月22日(日)午後2時〜の二回。いずれかへの参加をお願いします。作業時間はいずれも1時間以内、長靴等はこちらで用意します。
氏名・参加人数・参加希望プログラム「ワークショップ or トーク or 両方」を明記の上、漂流するアクアカフェ実行委員会(driftakcua@gmail.com)までお申し込み下さい。



ワークショップ
まちの景色を染める水

企画 むらたちひろ(美術家)

時間 13:00~14:00

定員 10名

対象 小学生以上

参加費 無料

高瀬川の水を使って、ある風景を布に浮かび上がらせます。当日は川から水を汲みとることから始まります。動きやすい履物・手拭きタオル・お子様は長靴を持参下さい。

京都駅